

## 特集

# 町おこしイベント 「OHAKO」 公有地活用検討会と 参加団体の皆さん



## 町議会

2月5日(日)に箱根ヶ崎駅西口の公有地を活用して、にぎわい創出の町おこしイベント「OHAKO」が開催され、1,500人以上の方がご来場されました。今回、「OHAKO」の企画や参加していただいた多くの方々を代表して、瑞穂農芸高校吹奏楽部、西多摩マウンテンバイク友の会、都市づくり公社、公有地活用検討会の皆さんにお話を伺いました。

\*「OHAKO」は箱根ヶ崎の「箱」と十八番(おはこ)という意味を込めています。



瑞穂農芸高校吹奏楽部による演奏

みんなが「ついで」になれば、もっとおこしイベントが楽しめる  
瑞穂町のことをもっと知りたくなりました

Q 今回参加したきっかけは?

「ごきわくぶ」を一緒にやらなら「ついで」誘われました。  
瑞穂農芸高校に参加が打診されました。コロナ禍で吹奏楽の演奏を発表する機会がなかったので、「おっじゃ」って思って部員に声を掛けました。  
先生がうれしそうな顔で参加しないかと誘ってきました。みんなの前で演奏できると思ったら、すぐに「ついで」って返事しました。  
町の企画担当者から「何か面白いことやりませんか」と声を掛けられました。

Q 参加ついでがどうなの?

「私たちの演奏を聴いてくれるかなあ」と不安もあったけど、はっちりでした。子ども中心で考えたけど、親子で喜んでくれました。  
瑞穂町のことをもっと知りたくなりました。

Q 次回はどんなイベントをしたいですか?

今回、コロナ禍で食品関係の出店を少なくしたけど、次回はキッチンカーも加えて、出店を増やしたいです。  
ファッションショーも面白いかもしれせん。  
瑞穂町の魅力は、手の届くところに自然



グリーンスローモビリティ試乗会



熱い思いを内に秘めながら町民のために仕事をする

中島 和輝さん  
(検討会委員)



まちを元気にするために駆け回るマウンテンバイクライダー

中沢 清さん  
(西多摩マウンテンバイク友の会)



初めてのイベント企画で不安と期待でいっぱいだったと笑顔で話す

宮崎 いづみ  
(都市づくり公社主任)



「みんな聴いてくれるかなあ」の不安が吹き飛んだ

伊藤 悠里さん  
(瑞穂農芸高校生徒)



演奏ができると満面の笑みで部員に話した

吉田 眞希雄さん  
(瑞穂農芸高校教師)



すぐに「うん」って返事したくてさな笑顔の

斎藤 美和さん  
(瑞穂農芸高校生徒)



や面白いものがあるところだと思っつので、体験ツアーをやってみたいです。

Q 町をもっと魅力的にするアイデアは?

駅前の人が集まれる場所が欲しいです。  
町のあるあるを教えてくれるマップがあるといいと思います。  
瑞穂町はポテンシャルがすごく高いと町外から来る人が感じています。みんながついになれば、もっとすごいことができると思っています。  
駅前からエコパークまでテーマに沿った道で繋げたら面白そうですね。  
誰でも安全に移動できる道。お話ししながら歩ける道。人に優しい道づくり。

Q 町の魅力を伝えるメッセージを教えてください

イベントがあれば呼んでください。ほっちり演奏します。  
車から降りて、自転車やウォーキングで風を感じましょう。振り向くとすてきな光景が広がっている。それが瑞穂の魅力です。  
通学中に、いろいろな動物…瑞穂町ってあまり知られていないのがショックです。町の魅力をみんなでPRしましょう。

協力ありがとうございました。